

郷土資料室企画展の開催結果について

1 概要

天正 12 年(1584 年)羽柴(後の豊臣)秀吉と徳川家康が唯一直接対決した「小牧・長久手の戦い」がこの地で繰り広げられました。この戦いで活躍し、ここ長久手で亡くなった森長可の武勇、武功談、武器などの「武」の側面に着目した企画展を開催しました。小牧長久手合戦絵図や絵入太閤記などの実物資料を中心に展示を行いました。

2 企画展名

森長可の武

3 開催期間

令和 3 年 1 1 月 1 7 日 (水) から 1 2 月 1 9 日 (日) まで (2 9 日間)

4 会場

長久手市郷土資料室 1 階観光交流サポートセンター内

5 来場者数

8 6 9 人

6 来場者の声 (アンケートより抜粋)

- ・森長可のことがわかりやすくまとめられており、見やすかった。もっとボリュームがあってもよかった。
- ・規模が思ったより小さかった。
- ・あまり取り上げられることの少ない武将についての展示であり興味深かった。
- ・森長可に焦点を当てた展示が見られて良かったです。貴重な資料の実物も見ることができ、嬉しく思います。
- ・たくさんの資料を一度に見たい。
- ・森長可公メインの企画展はなかなかないので、とてもうれしかった。
- ・小牧・長久手の戦いは家康・秀吉唯一の戦いなので、もっと SNS などでもアピールしてほしいです。等

7 ボランティアガイド

企画展開催期間中の土曜日、日曜日、祝日に、長久手市郷土市研究会の協力を得て、会員によるボランティアガイドを実施した。

8 関連事業

企画展関連講座

「本能寺の変から小牧・長久手」

(1) 概要

森可成、長可、成利、忠政の森氏4代の人物像や略歴の説明があった。また、本能寺の変の後に森長可が東美濃平定について攻略した可児市内の山城と併せて説明があった。

(2) 開催日

令和3年11月28日（日） 午前10時 ～ 午前11時30分

(3) 会場

文化の家 光のホール

(4) 講師

可児市文化財課 川合俊文化財課長

(5) 参加者数

65人（定員70人）

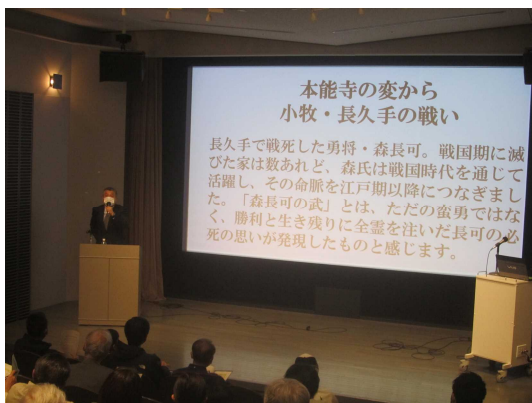
(6) 来場者の声（アンケートより抜粋）

- ・ 深掘りした講義内容が聞けて、とてもよかったです
- ・ 可児の城の話が主体で、小牧・長久手の戦いの詳細をもっと聞きたかった。
- ・ わかりやすい講座。このような講座を、今後も企画を検討していただきたい。
- ・ 戦いについて、もう少し詳しく聞けたらな、と思いました。

9 開催状況写真



企画展会場概観



企画展関連講座